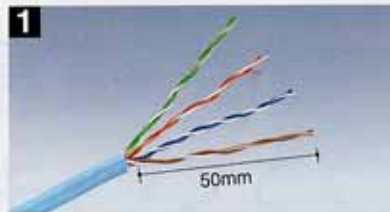


# Guttoすなら、多彩な工夫で施工が簡単&スピーディ。 施工後の性能バラツキも軽減できます。

## Guttoすシリーズ 情報モジュラジャックの成端方法

※NR3161(露出型)とNR13523L(LANケーブル 4対 CAT5E)の場合



1 ケーブルの外被を50mm程度むきます。



2 露出ケースのカバーをスライドさせてはずします。



3 露出ケース裏面のヒンジ部を押して、モジュールを取り外します。



4 キャップのツメ部分を両端でつまみ、引き上げながら外します。



5 ケーブルの外被の先端をモジュールのケーブル固定部にはめ込みます。



6 ラベルの色表示に合わせ、心線のよりの中心を精円状端子の突起に押し当て、よりを広げながら挿入します。



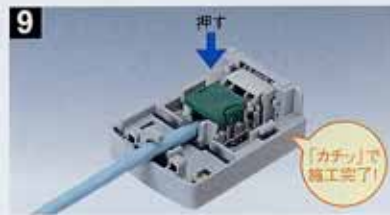
7 キャップの先端を使用し、一心ずつ押し込み、ニッパーで余線を切断します。(合計8カ所)  
注)  $\phi 0.65\text{mm}$ のケーブルを結線する場合は専用工具(Dインパクトツール)を使用してください。



7 Dインパクトツールの切断刃を外側にし、一心ずつ押し込みます。(切断刃により余線が切断されます)  
注) 刃の向きに注意してください。



8 心線が満の奥まで入り込んでいることを確認してください。



9 モジュールにキャップを装着し、露出ケースに「カチッ」と音がするまで押し込みます。



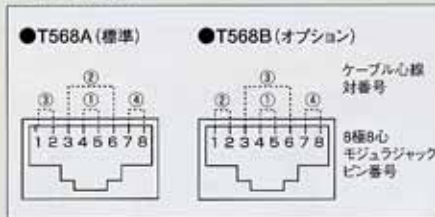
10 露出ケースの入線ガイドにケーブルを合わせ、カバーをスライドさせて閉めます。



完成!

## ツイストペアケーブルの結線

### ■端子配列図

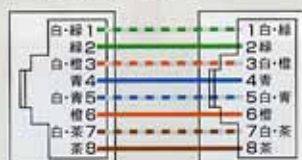


対番	色	ピン番号	
		T568A	T568B
①	白・青 (W・BL)	5	5
	青 (BL)	4	4
②	白・橙 (W・O)	3	1
	橙 (O)	6	2
③	白・緑 (W・G)	1	3
	緑 (G)	2	6
④	白・茶 (W・BR)	7	7
	茶 (BR)	8	8

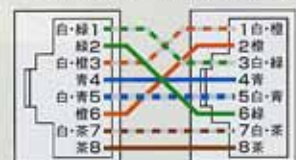
●情報モジュラジャックのピン番号と4対ケーブルの対番号との接続の配列は、LAN配線の規格(ANSI/TIA/EIA-568-B)にてT568A(標準)、T568B(オプション)の2通りの結線方法が定められています。

●両者は、1-2と3-6のピン番号に結線する心線の色が異なりますが、ピンのペアの探り方は同じです。

### ■ストレートケーブルの結線 (T568Aの場合)



### ■クロスケーブルの結線 (10BASE-T, 100BASE-TX用)



●ストレート結線をするためには、ケーブル両端の結線を統一する必要があります。  
(一端をT568A、もう一端をT568Bにした場合、10BASE-T、100BASE-TXのクロスケーブルとなります。)

注) 結線方法を無視した場合、通信できないなどの不具合が発生する恐れがあります。